

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減り始めて、観光客が徐々に増え始めている。また、9月後半より地元の会食自粛の制限も緩み、週末は例年の8割ほどまで回復している。反面、デリバリーは客が外に出るようになって注文が半分ほどになっている。
	◎	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・ホテルの6月の販売室数が前年比156%増加なのに対して、9月の販売室数は前年比284%増加とプラス幅が大きくなっている。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が少し落ち着いてきて、少しだけ良くなる方向に向かっている雰囲気もあるが、まだ継続して新型コロナウイルス感染症の影響があって、大変厳しい状況である。
	○	一般小売店〔酒〕（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減って、イベントなどが盛んになっている。人が動くことで経済も回るようになっている。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・夜間の客単価が前年と比べて伸びている。
	○	コンビニ（副店長）	販売量の動き	・月初めの2週連続での台風接近で来客数、販売量も伸び悩んでいたが、9月の大型連休を機に来客数、販売量も上がってきている。
	○	乗用車販売店（経理担当）	来客数の動き	・新型車への関心など、客の反応は良い。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	販売量の動き	・陶器の注文数が増えている。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・以前と比べて宿泊客数が増えている。稼働率も3か月前は30%だったのが、50%になっている。飲食についても良くなっている。ただし、昼食や会議が中心で夜の宴会は増えていない。
	○	旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・世の中が経済活動を優先する方向にかじを切っているため、それと比例するように販売量が増えてきている。
	○	住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・思いがけずに他社設計の競争入札で数件受注でき、手持ち工事が増えている。
	□	百貨店（店舗企画）	お客様の様子	・北海道物産展等で客の動員が拡大し、買物を楽しんでいる様子が見えるが、今月は台風の影響による悪天候で一時集客が落ちた。また、食料品、ガソリン、光熱費等の価格高騰による精神的なダメージからか、客単価は若干下がり気味である。
	□	スーパー（販売企画）	販売量の動き	・前月同様物価高騰により1品単価は上がっているが、その影響で買上点数が落ちている。前月より来客数は少し良くなっているが売上は悪い状況が続いている。
	□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてきて人の流れが戻ってきたようにみられるが、一方で物価、燃料費高騰の影響もある。景気が少しずつ上向いていながらも、一方で財布のひもが固いように見受けられる。
	□	住宅販売会社（役員）	販売量の動き	・住宅販売に関する来場者数は増えつつあり、それなりに成約件数も上々だが好調とはいえない。
	▲	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・商品等の値上げが相次ぎ、客の節約志向が高まっていることから、販売点数が前年に対し、10%弱の減少と厳しい状況が続いている。
▲	一般レストラン（代表者）	販売量の動き	・良いときと悪いときの差が大きい。	
×	観光名所（職員）	来客数の動き	・二次交通の問題で予想の来客数に届いていない。ホテルから外出しない客が増えている。	
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・周りを見ると、観光客も随分戻りつつある。結果、ホテル、飲食店向けの需要の増加や土産品関連卸への売上増加がみられる。
	○	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・ある程度高額な土地活用として、賃貸住宅の動きが出てきている。

	○	会計事務所（所長）	それ以外	・コロナ禍が沈静化しつつあり、人流も増加する傾向にある。
	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・見積依頼、受注共に3か月前と大きな変化はないが、部品の納期が長期化している。
	□	輸送業（経営企画室）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大が沈静化しているが、物価の上昇による消費の落ち込みが懸念される。
	▲	*	*	*
	×	—	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（総務担当）	それ以外	・観光客数が増加傾向にあり、人の動きも活発化し、景気が回復していくのではないかと。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・飲食店、ホテル関係の求人数が増加している。また、新規オープン飲食店も多い。
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	・学内説明会を始め、採用に関する情報交換ということで企業の来校希望が増えている。次年度に向けてより良い人材を採用するための情報収集と見受けられる。
	□	求人情報誌製作会社（営業）	求人数の動き	・求人数は全体的に大きな変化はない。内訳の変化として、飲食関連の募集が落ち着いてきており、イベント関連、サービス関連、ホテルや観光関連の募集が増加傾向にある。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—